

議会だより

うちこ

vol. 55

令和7年11月
発行



無電柱化事業開始!

P2

7月臨時会・9月定例会

P2

決算認定報告 P3 ~ P5

常任委員会 P6 ~ P7

一般質問(6名) P8 ~ P14

【やっぱり美味しい稻木米!】
モデル:御祓地区で稻木づくりをされるご夫婦



定例会

7月 臨時会

第149回臨時会が
7月23日に開催されました。

9月 定例会

第150回定例会が9月2日から18日までの
17日間の会期で開催されました。

令和6年度 一般会計・特別会計・公営企業会計 決算審査監査委員報告 (令和7年6月24日～7月17日実施)

A circular portrait of Dr. Toshiaki Kondo, a middle-aged man with short grey hair, wearing a dark suit and tie.

A circular portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing glasses, a white shirt, and a dark tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression.

監査委員
久保 美博

代表監査委員会

「最少の経費で最大の效果を挙げる」という地方自治法の精神と趣旨が活かされており、競争性、透明性、経済性を踏まえた競争入札、比較見積りが行われていた。入札事案については、透明性を一層高めるため、簡易総合評価方式を組み合わせたり、担当部署を総務課へ移管するなど、工夫されており評価できる。引き続き、法令・事務処理手順・コンプライアンスを遵守されたい。

委託料及び工事請負費

節約、競争原理を生かした入札残など、良い不用額の発生事例が多くあつた。一方、予算執行事務管理不足や補正予算の対応が不十分で多額の不用額が発生した事例が確認された。予算執行事務管理の徹底により、補正予算対応や将来のための基金として活用するなど、限られた財源の最大限の活用に努められたい。

●一般会計・特別会計
予算額に対する不用額

書等は予算並びに関係法令
次とのおり。

予算額に対する不用

一般会計・特別会計



図面を確認しながらの工事監査

町税、国民健康保険税、貸付金、負担金、使用料等の全体の滞納は、対前年度比で782万6千円の減少となつた。徴収事務は、自主財源の確保、公平な負担、行政の信頼につながるもので、過年分を含め、滞納解消に一層努められたい。また、職員の不作為による不納欠損処理とならないよう法令に基づき厳正的確に対処された。

卷之三

たし

各種事務の処理に当たつては、事務処理手順の遵守と管理者の事務管理を徹底されたい。不適切事例が発生すると処理に多大な事務量が必要となり、結果として事務量増加や行政の信頼を損なうことにもつながる。これまでの監査等で指導してきた「内部統制」（内部牽制や内部監査の充実）を5年4月から導入している。必要に応じて評価ノスクの見直しを行い、効果的なものとなるよう取り組まわ



空気が引き締まる決算審査



令和6年度決算審査認定!!

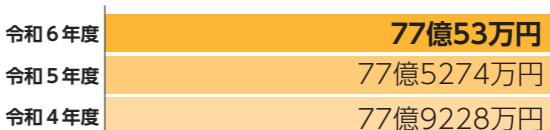
9月9日～11日の3日間、令和6年度各会計の決算議案8件について、議員全員が参加する予算決算常任委員会において一般会計、特別会計(※1)、企業会計(※2)の決算審査を行い、定例会最終日18日にいずれも認定しました。このページでは、委員会での審査の一部をお知らせします。

※1 国民健康保険事業、後期高齢者医療保険事業、介護保険事業、介護保険サービス事業、内子高等学校小田分校寄宿舎
※2 水道事業、下水道事業

一般会計歳出決算額の推移



借入金(町債)残高の推移<一般会計>



預金(基金)残高の推移



メンタルヘルス相談事業

現在、何名の職員が休んでおり、どのような対応をとっているのか。

答 総務課

現在8名の職員が休職している。総務課に常勤の保健師を配置してサポートを強化するとともに、昨年12月から復職支援プログラムを導入し、復帰支援と再発防止に取り組んでいる。

建設デザイン課

現時点で特定空き家として認定した件数はない。危険な空き家については個別に対応している。

答 環境政策室

からり直売所への太陽光発電設備導入に伴う事業効果について、CO₂排出削減量の検証は令和6年度末事業完了のため、令和7年度実績に基づき行う。一方、電気料金については、4月以降、月約20万円程度の削減効果が確認されている。

脱炭素推進事業の検証

障がい者地域支援活動支援センター指定管理後の状況	
問 指定管理制度の導入後、利用者数やサービスの質に変化はありますか。	答 保健福祉課 利用者数は横ばいだが、民営化後は専門職員の配置が進み、サービスの質は向上していると考えている。
問 申請件数が減少しているが、主な要因は何か。また、対策は考えているのか。	答 農林振興課 木材をはじめとする資材費や建築費の高騰が続いているが、結果、新築のハードルが高くなっていると考えられる。対策として、令和7年度からは町内工務店利用への補助拡充など補助要綱を見直しており、これにより申請件数の増加につなげていきたい。

デジタルサイネージ導入事業	
問 情報はその場にあつた最新のものを提供するのがよいと思うが、更新は職員が行えるのか。また、利用状況の把握は可能なのか。	答 町並・地域振興課 データの更新は職員が行うことができる、各設置場所に応じて最適な情報提供に努めている。また、利用状況は、画面のタッチ回数で把握できる。
問 設置場所に応じた情報提供が可能	答 学力向上の取り組み Aスクール推進事業の成果を、学力調査結果からどのように評価しているか。

今後の介護計画は	
問 高齢化の人口動向を踏まえ、今後の介護計画はどう考えているのか。	答 保健福祉課 介護計画は3年ごとに見直して、必要な施設数や体制を改めて検討する。長期的な対応については、国・県と連携を取り組んでいく。
問 下水道処理量の増加要因	答 建設デザイン課 新築の建物も多くあり、単独浄化槽から下水への接続も多くなっていることなどから、汚水の量も増えている。
問 下水道処理区域において、区域の人口は減少しているが、4年度と比較して処理量が増えている要因は何か。	答 建設デザイン課 下水道処理区域において、区域の人口は減少しているが、4年度と比較して処理量が増えている要因は何か。

主な事業		
立石自治会館新築工事 1億32万円	学校施設トイレ改修工事 1億3960万円	農業機械施設整備事業補助(27件) 1453万円
議会だより うちこ 令和7年11月発行	議会だより うちこ 令和7年11月発行	議会だより うちこ 令和7年11月発行



からり直売所の太陽光発電設備

地域おこし協力隊の定住率は	
問 任期満了後の定住率は、今年4月1日時点で約40%となつており、また定住支援についてどうよう考へてしているのか。	答 企画情報課 任期後の定住率は、今年4月1日時点で約40%となつており、地域や担当課と連携を図りながら、定住につながる取り組みをさらに強化していくことを図りたい。
問 特定空き家の認定件数は。	答 保健福祉課 特定空き家の認定件数は。

総務文教常任委員会

内子町投票管理者等の報酬支給条例の一部改正

投票管理者等の報酬額を国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律に定める基準額に準じた額とするため、条例の一部改正

投票立会人について、毎回同じ方が務めているように見えるが、立会人の選任に苦慮しているのではないか。現状はどのように確保しているのか。

立会人の募集は広報誌で行つてあるが、応募者が集まらないため、選挙管理委員会が個別にお願いしているケースが多いのが現状である。

デスクトップパソコン等購入に係る物品購入契約 847万円

Windowsは順次、最新の状態に更新を行い、更新した機器の処分についてはハードディスク

現在使用中のパソコンに関しでWindows 10サポート終了に対する対応と、更新後の機器の処分方法をどのように行うのか。

Windowsは原則として家賃の3か月分となっており、町営住宅の家賃は所得に応じて決まるため個別に異なる。

企画情報課

新たな地域おこし協力隊受け入れのための経費 397万円

隊員の引っ越し費用の補助は、着任時の1回に限り支給される。

企画情報課

大洲喜多地区の救急医療などを含む医療体制維持の検討を行うための委託事業負担 507万円

検討会はどのような構成か。

保健福祉課

大洲喜多地区の市長・町長、救急を担当する病院の院長、喜多医師会の会長などで構成されている。

小田の郷せせらぎ設計委託料 1010万円

売り場スペースが拡張しているが、今後どのような利用を考えているのか。

小田支所

予算決算常任委員会

◎令和7年度内子町一般会計補正予算(第3号)

新たな地域おこし協力隊受け入れのための経費 397万円

隊員の引っ越し費用の補助は、着任時の1回に限り支給される。

企画情報課

大洲喜多地区の救急医療などを含む医療体制維持の検討を行うための委託事業負担 507万円

検討会はどのような構成か。

保健福祉課

大洲喜多地区の市長・町長、救急を担当する病院の院長、喜多医師会の会長などで構成されている。

小田の郷せせらぎ設計委託料 1010万円

売り場スペースが拡張しているが、今後どのような利用を考えているのか。

小田支所



定期的に修繕を行っている「からり橋」

を破壊して安全に廃棄するとともに、その記録を残している。

大瀬自治センター新築建築主体工事請負契約 1億9470万円

今回使用予定の石州瓦の特徴と、なぜ採用したのか。

石州瓦は耐久性に優れる一方、重量が重いという特徴がある。今後建築予定の大瀬成屋地区は景観重点区域に指定されており、構造設計上問題がないため景観を配慮し石州瓦を採用した。

自治・学習課

石州瓦は耐久性に優れる一方、重量が重いという特徴がある。今後建築予定の大瀬成屋地区は景観重点区域に指定されており、構造設計上問題がないため景観を配慮し石州瓦を採用した。

大瀬成屋地区のようす
自治センターも景観に配慮したものに



委員会での採決は、

可決

産業建設厚生常任委員会

内子町営住宅条例の一部改正
去している入居者の敷金を未納金額に充てるための条例改正

町営住宅使用料が未納のまま退居する場合の敷金の額は、所得に応じて変わるものか、それとも一定なのがわかるのか。

敷金の額は、所得に応じて変わるものか、それとも一定なのがわかるのか。

建設デザイン課

敷金は原則として家賃の3か月分となっており、町営住宅の家賃は所得に応じて決まるため個別に異なる。

内子町クリーンセンター補修工事請負契約 9636万円

随意契約の見積もりや単価の審査などのように行つているのか。

環境政策室

部品や作業ごとの見積もりと劳务単価等を基に設計を作成し、建設デザイン課のチェックを受けた後、入札担当部署が入札形式に沿つて見積もりを徴収している。

内子町クリーンセンター補修工事請負契約 9636万円

随意契約の見積もりや単価の審査などのように行つているのか。

建設デザイン課

解体後は整地し、利用については決まりでいるのか。

解体後の利用については決まりでいるのか。

建設デザイン課

解体後は整地し、利用については決まりでいるのか。

岡団地解体工事 178万円



◎令和7年度内子町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

徘徊高齢者位置情報サービス利用費補助 7万円

利用費補助は、どの範囲に適用されるのか。

保健福祉課

徘徊対策としての通信機器の初期導入費用を補助対象とし、1万5千円を限度とし支給する。

委員会での採決は、

可決

旧森家住宅改修2期工事(建築主工事)工事請負契約 1億9800万円

最近の局地的な豪雨を踏まえ、雨どいなど排水容量は十分確保されているのか。

町並・地域振興課

昨今の降雨事情を踏まえ、雨どいなどは「やや大きめのもの」を探している。



1期工事が終了した旧森家

町政を問う!

内子町ホームページ
「議会事務局」



内子町議会
インターネット配信



【質問通告書内容】

酒井 勝也 議員

○令和7年度のDX推進計画の進捗状況と今後の方針

○役場内での生成AIの利用状況と今後の利用方針

○公式LINEの登録者数と今後の登録者拡充と利用方法

城戸 司 議員

○熱中症対策 ○教育における体験格差

○参議院選挙の影響 ○恋愛観や結婚観

下野 安彦 議員

○特定地域づくり事業協同組合制度 ○災害関連死を減らすために避難所運営で優先的に取り組むこと

松田 修 議員

○内子町の資産の活用 ○農林業 ○県道・町道の安全確保 ○モバイル機器の使用環境の整備

向井 一富 議員

○第3期総合計画概要について問う



13ページ

12ページ

10ページ

9ページ

DX推進計画を進め効率化と町民の生活の充実を目指す



酒井 勝也 議員

【DX計画の推進状況】

問 現時点でのDX推進、産官民学との連携や啓発、意識改革、府内改革の今後の課題や方針を伺う。

答 現在、内子町では「DX推進計画」は策定しておらず、今年度より開始した第3期内子町総合計画の基本方針に基づき令和8年度中に計画策定を目指している。国などから専門性の高い人材派遣による支援を受け準備をしている。民間の通信会社と連携してスマホ教室の開催や職員の研修を実施し官民連携によるDX推進に取り組んでいる。

【生成AIの利用状況と今後の方針】

問 AI、特にChatGPT等の对话型AIの利用実績や導入例は。

問 職員のデジタルリテラシーの向上についてのスケジュールや、デジタルデバイド（情報格差）対策の計画は。

答 業務の効率化や職員の省力化のため生成AIの活用が期待されている。導入の実績はないが、AIの活用については議事録作成支援AI音声認識システムの導入実績がある。

答 内子町での公式LINEの登録者数は。利用者数の拡充をしていくための取り組みを聞く。

答 令和8年8月末現在登録者数は1549人。目標の40000人

【公式LINEの登録者数と利用方針】



公式LINEへの登録をお願いします。
ご家族やご友人にもぜひおすすめください。

こちらから

一般質問の映像配信は



当記事では「一般質問」の質疑内容について、誌面スペースの都合上一部抜粋となっています。各議員の質問項目については【質問通告書内容】のとおりです。

議会での質問並びに答弁の全文を知りたい方は、下記内子町ホームページ「内子町議会」「会議録」もしくは「インターネット配信」にて録画映像配信を行っておりますのでご覧ください。

※会議録のホームページ掲載は「議会だより うちこ」発行から約2ヶ月後となります。ご了承ください。

<https://www.town.uchiko.ehime.jp/soshiki/16/>

熱中症対策に暑熱順化。夏までに体を慣れさせよう！



城戸 司 議員

【今年も暑い。なくそう熱中症】

問 職場での熱中症対策が義務づけられたが、対策をしているか。

答 対象となる作業を行う部署に対して、暑さ指数計を配布した。また、作業前に注意喚起を行うとともに、作業責任者が休憩時間を盛り込んだ作業計画を立てている。

問 このほか、落ち着いて適切な対応が行えるよう、熱中症発症時の対応をフロー図にしたコードを作成して職員に配布している。

問 热中症が危惧される時期において避難所を開設する場合は、エアコン設備が整った自治会館などでは開設している。今年度は、五十崎体育館にエアコン設備を整備する予定である。夏の暑さが厳しくなっているので、体育館のエアコン設備は必要であり、国の補助事業などを活用し、計画的に整備したい。

また、学校の協力が得られた場合は、エアコン設備のある教室を避難所として利用するなど、災害時には町が保有するすべての施設設備を活用しながら、避難された方の健康管理に努める。

問 教育の現場でどのような対策をしているか。

答 小中学校及び幼稚園における熱中症対策については、文部科学省及び県教育委員会からの通知に基づき、「学校教育活動における熱中症事故防止に向けた対応（基準）」を定め、各種学校行事や部活動等において、暑さ指数を基準とする運用を行い、「熱中症対策リスト」による確認を実施しながら、熱中症における事故防止等に努めている。



エアコンを設置した五十崎体育館

【子どもの成長にたくさん体験を】

問 子どもの成長において体験がいかに重要かは、文部科学省の調査研究でも出ている。運動会や授業などを合同で実施するなど、地域による格差をなくすことはできないか。

答 小学校では、小田深山での集団宿泊体験活動や、スキー教室、修学旅行等で合同による連合小学校として実施している。また、中学校では、ジオブチャレンジなどの宿泊体験活動を町内一斉に同一週間で実施し、学校体験活動を通じて、児童生徒の学習意欲の向上と

地域全体で子どもを育む地域づくりなど、統一した学習環境で実施している。今後も、町内の各学校において、それぞれの学校の伝統や校風、地域の実情に応じた創意工夫ある教育活動や体験学習を実施し、さらに魅力ある学校づくり、特色ある学校づくりを進めたい。

問 天候などで体験学習ができない場合、中止ではなく、日を改めるることはできないか。

答 小田深山での集団宿泊体験活動やスキー教室については、悪天候により予定日に実施できない場合でも、翌週等に予備日を設定し、実施できるよう計画をしている。

過去に台風等の影響で中止となつたことはあるが、近年は予定日または予備日実施できている。

また、予備日に実施できなかつた場合、遠足など各学校での他の行事として実施するなど、体験学習の確保に努めている。

今後も、児童生徒が多様な体験活動を通じ、学習できる環境教育の充実に努めていきたい。

問 学校教育段階から、性や妊娠、命の尊さに関する正しい知識の啓発はどうか。

答 性教育参観日を実施し、保護者とともに性教育について考える機会を設け、性に関する教材を活用した授業を行い、保護者に公開をしている。また、内子町子育て支援センターによる「いのちの授業」など、生徒が命の大切さを再認識する機会を設けて、外部指導者による学びも実施している。



一般質問の映像配信は
こちらから



子孫を増やし守るのは、人間、動物植物全て同じだと思います。人口が自然と増える、そういう世の中になることを望み、質問を終ります。

問 結婚したい男女を支援する行政の立場であるという認識で、結婚観の醸成を図る場の形成に取り組む予定は現在のところない。

答 人口減少対策を総合的に推進するひとつの方策ではあるかもしれないが、個人の持つ価値観を変えることが非常に難しい上に、価値観の押し付けとも捉えられかねない事業は実施するべきではないと考える。

結婚したい男女を支援する行政の立場であるという認識で、結婚観の醸成を図る場の形成に取り組む予定は現在のところない。

問 結婚応援課や縁結び支援員の取組みの考えは無いか。

答 今後の見通しについては不確定要素が多い。

国の動向が変化しても、私たちには町民の暮らしを安定させ、働く人を支え、子育て環境を守るために施策を限られた財源のなかで着実に進めていくことが重要である。今後どのような国政を望まれるか。

【参議院選挙の影響は】



下野 安彦 議員



これからの国民が望む国政とは？

問 自民・公明両党は過半数の議席を維持できず、衆議院に続き、参議院でも少数与党となつた。今後の政局によつては、町民の暮らしや、働き方、子育て環境にどう影響していくと思われるか。

答 今後の見通しについては不確定要素が多い。

国の動向が変化しても、私たちには町民の暮らしを安定させ、働く人を支え、子育て環境を守るために施策を限られた財源のなかで着実に進めていくことが重要である。

問 恋愛観や結婚観は

答 人口減少対策を総合的に推進するひとつの方策ではあるかもしれないが、個人の持つ価値観を変えることが非常に難しい上に、価値観の押し付けとも捉えられかねない事業は実施するべきではないと考える。

社会全体で、子どもを育てるという意識に、町の方も皆さんに呼びかけていきたい。いろんなことをやっていかないとなかなか難しいとは感じている。

問 結婚応援課や縁結び支援員の取組みの考えは無いか。

一般質問の映像配信は
こちらから



問 国防、外交、年金、経済政策、通貨政策などは、国が果たすべき政策である。地方行政の長として、今後どのような国政を望まれるか。

答 今後も、町内の各学校において、それぞれの学校の伝統や校風、地域の実情に応じた創意工夫ある教育活動や体験学習を実施し、さらには魅力ある学校づくり、特色ある学校づくりを進めたい。

人口減少に歯止めをかける起爆剤

くぼ
久保
よしひろ
美博 議員

【特定地域づくり事業協同組合制度の導入を】

問 人口減少に対する危機感は全國問題で、国や県も同様で様々な対策を講じている。第3期内子町総合計画で2045年に人口が9000人になると想定されている。人口減少に歯止めをかける政策として特定地域づくり事業協同組合制度の取り組みについて伺う。

答 地域人口の急減に直面している地域において、組合で雇用した職員を人材が必要な地域内の事業者に派遣することで担い手を確保する取り組みで、雇用された職員は社会保険等に加入し安定的な雇用環境や給与確保が見込まれ、組合員である事業者は、季節的に必要な労力、担い手確保が可能になるメリットがあり、また、繫忙期

と閑散期で派遣依頼に大きなばらつきが生じるデメリットが考えられます。この組合を設立することで新たな職場が生まれ、移住者の受け入れや定住者の確保に一定の効果は見込まれるが、現在のところ組合の設立は考えていない。

問 考えていないと言わてしまふと身も蓋もない、提案しているのだから土俵に上げて、検討していただきたい。福祉部門で農福連携して取り組めばもっと幅が広がると思うが、取り組みについて伺う。

答 組合を作つて人口減少対策、担い手対策の一手をうつことも大切だが、設立者組合が持続可能な組織とすることが一番重要だと思つており、持続可能とすることができるかどうかというところに、課題が多いのではないかと理解している。

問 この制度について町長の考えを伺う。

答 必要という状況になれば検討すべきと思うが、現時点では考えていない。

内子町の資産・資源活用を問う

まつだ
おさむ
松田 議員

【内子町の資産活用は】

問 廃園となつた内子幼稚園の活用について。令和7年4月に内子町防災センターとしての活用案が提出されているが、具体的な活用方針はできているのか。

答 旧内子幼稚園を内子町防災センターとして活用することについて、今年4月に中央自治会の徳田

会長から内子町に対して要望書を提出していただいている。これら提案を含め担当部署と協議し、また住民の皆様のご意見を伺いながら今年度中にお示ししたい。

【生業として林業は】

問 この数十年、企業誘致ができないかった。町としてどのような誘致活動をしたか。

答 当時住宅団地とすることを目的に道路工事事業で発生する残土で造成したもの。現在は目的を変更し、企業誘致として確保していく。

【ライフラインの安全は】

問 県道、町内の県道、町道は樹木が茂つてトンネルのようになつていて、大雨や強風時には、倒木や樹木の枯れ枝が道路に落下し、危険な状況。電線や電話線などにも架かり、災害時のライフラインの寸断が危惧されるが関係機関との連携は。

問 愛媛ゴルフ俱楽部横の造成地は造成後数十年なんの利用もされていないようだが、造成された当時



【モバイル機器の使用環境】

問 携帯電話を中心としたモバイル機器の使用者は増えている。しかし町内にはモバイル機器の使用環境（電波が届かない地区がある）に差がある。これらの環境改善を町として取り組めないか。

答 携帯電話などの通信機器が使用できないところや電波の弱いところについては、それぞれ条件が異なる。そのなかで、個別に必要と判断した場合については、通信回線事業者等との協議や要望を行いたいと考えている。

一般質問の映像配信は
こちらから



問 愛媛ゴルフ俱楽部横の造成地は造成された当時

答 公助が始まるまでの3日間の必要な保存食、飲料水の備蓄に取り組んでいる。現時点で非常食約1万食、長期保存水500㍑を約1万本、毛布約1000枚、段ボールベッド約100台、携帯トイレ約2万回分などを町内9カ所に分散備蓄している。計画的に物資の必要数を確保しながら避難所環境の整備に努める。



避難所設営訓練のようす

問 避難所環境が不十分な場合、災害関連死につながる可能性もある。対応が急務と思うがその準備状況は。

答 防災備蓄品を整備するにあたり、女性の視点、声を聞いて備蓄品の導入をしているのか。

問 考えていないと言わてしまふと身も蓋もない、提案しているのだから土俵に上げて、検討していただきたい。福祉部門で農福連携して取り組めばもっと幅が広がると思うが、取り組みについて伺う。

答 組合を作つて人口減少対策、担い手対策の一 手をうつことも大切だが、設立者組合が持続可能な組織とすることが一番重要だと思つており、持続可能とすることができるかどうかというところに、課題が多いのではないかと理解している。

問 この制度について町長の考えを伺う。

答 必要という状況になれば検討すべきと思うが、現時点では考えていない。

答 内子町地域防災計画では、ストーマー装具を交換できるスペースの確保について定めている。避難所での更衣室や授乳室の確保と同様に配慮しなければならないと認識している。避難者全員が安心して避難所生活が送れるよう、今後、オストメイト対応トイレを購入し、備蓄したい。

一般質問の映像配信は
こちらから



問 考えていないと言わてしまふと身も蓋もない、提案しているのだから土俵に上げて、検討していただきたい。福祉部門で農福連携して取り組めばもっと幅が広がると思うが、取り組みについて伺う。

答 人口減少に対する危機感は全国問題で、国や県も同様で様々な対策を講じている。第3期内子町総合計画で2045年に人口が9000人になると想定されている。人口減少に歯止めをかける政策として特定地域づくり事業協同組合制度の取り組みについて伺う。

問 人口減少に対する危機感は全国問題で、国や県も同様で様々な対策を講じている。第3期内子町総合計画で2045年に人口が9000人になると想定されている。人口減少に歯止めをかける政策として特定地域づくり事業協同組合制度の取り組みについて伺う。

問 考えていないと言わてしまふと身も蓋もない、提案しているのだから土俵に上げて、検討していただきたい。福祉部門で農福連携して取り組めばもっと幅が広がると思うが、取り組みについて伺う。

答 人口減少に対する危機感は全国問題で、国や県も同様で様々な対策を講じている。第3期内子町総合計画で2045年に人口が9000人になると想定されている。人口減少に歯止めをかける政策として特定地域づくり事業協同組合制度の取り組みについて伺う。

問 人口減少に対する危機感は全国問題で、国や県も同様で様々な対策を講じている。第3期内子町総合計画で2045年に人口が9000人になると想定されている。人口減少に歯止めをかける政策として特定地域づくり事業協同組合制度の取り組みについて伺う。

問 人口減少に対する危機感は全国問題で、国や県も同様で様々な対策を講じている。第3期内子町総合計画で2045年に人口が9000人になると想定されている。人口減少に歯止めをかける政策として特定地域づくり事業協同組合制度の取り組みについて伺う。

問 人口減少に対する危機感は全国問題で、国や県も同様で様々な対策を講じている。第3期内子町総合計画で2045年に人口が9000人になると想定されている。人口減少に歯止めをかける政策として特定地域づくり事業協同組合制度の取り組みについて伺う。

傍聴席から

50代男性



内子町議会9月定例会一般質問を傍聴させていただきました。普段はなかなか触れる機会のない議会の場を直接見ることができ、とても貴重な体験となりました。

議員の方々と理事者や担当課長さんが住民の暮らしに関わる様々な課題について真剣に議論している様子から、町の運営がどれだけ多くの議論と手続きによって成り立っているかを実感しました。町民として頼もしく思うとともに、自分自身も今後もっと町政について学び、より主体的に地域に関わっていきたいと感じました。

今回の傍聴を通じて、議会や政治をより身近に感じることができ、町の一員としての責任や役割について考える良い機会となりました。



- 4日 令和7年度内子町こども議会
- 8日 第1回町村議会議員研修会(松山)
- 6日 産業建設厚生常任委員会
- 19日 全員協議会、総務文教常任委員会
- 20日 小田まちづくり株式会社第24期定時総会(議長)
- 21日 八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合議会(大洲市)
- 25日 議会運営委員会
- 27日 大洲・喜多衛生事務組合議会臨時会(大洲市)
- 27日~28日 議会広報常任委員会視察研修(東京都)



- 2日~18日 内子町議会9月定例会
- 2日 議会広報常任委員会
- 8日 総務文教常任委員会、産業建設厚生常任委員会
- 9日~12日 予算決算常任委員会
- 25日 四国四県町村長・議長大会(高知県) (議長)



- 1日 内子町オンデマンド交通出発式(議長)
- 2日 議会広報常任委員会
- 7日 令和7年度内子町戦没者慰霊祭
- 8日 第63回四国地区町村議会議長会研修会(松山市)
- 9日 行政視察受け入れ(徳島県美波町議会)
- 14日 議会広報常任委員会
- 17日 全員協議会、議会運営委員会
- 18日 アートベンチャーエヒメフェス2025・小田ゾーン単独オープニングセレモニー(議長)
- 22日 内子町議会臨時会

議会の主な活動



豊島区議会事務局での視察研修

東京都豊島区とは、平成25年12月に「豊島区と内子町との非常災害時における相互応援に関する協定」、令和3年12月に「うちこ×しま文化交流都市協定」を締結しましたほか数々の交流があり、今回は議会の取り組みを学ぶため視察を行つた。

8月27日、28日の二日間、豊島区議会取り組み状況の視察、池袋防災館での研修、町議会広報研修会に参加した。

豊島区議会

議会広報常任委員会研修報告

議会広報

- ・オンラインを活用した委員会の開催方法の整備について
- ・豊島区議会BCP（業務継続計画）の策定
- ・委員会等におけるお茶出しの廃止・マイボトル等の持ち込みの実施
- ・会議のペーパーレス化など計10の改革を実現されたこと。また、今後も代理出席ができる会議体の決定
- ・委員会におけるオンライン出席の規定整備
- ・本会議中におけるマイボトルの持ち込みの実施
- ・議会中継のライブ中継の拡大
- ・29項目について協議、改革していくということであった。

また、ホームページの作成、議会日程の告知ポスターの作製など、啓発活動に入れているところのこと。

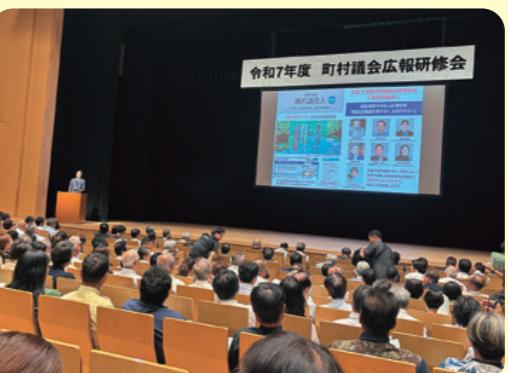
震度7の地震の揺れを再現する機器を用いた体験を行つた。住民の防災意識を高める啓発活動の重要性を改めて認識するとともに、災害時に議員としてどのような行動をとるべきか、参加者間で意見を交わす有意義な機会となつた。

- ・議会BCP
- ・全議員に対し研修会や防災通信訓練を実施するなどして作成。東日本大震災が導入への大きなきっかけになつたようである。
- ・特徴としては議員・議会・事務局職員の行動基準にタイムラインを位置づけ、事前予測が困難な災害(地震等)と事前予測が可能な災害(台風等)に分けて行動基準を規定、発災のタイミングを8ケースに分類し規定しているとのことであつた。



震度7を体験！大変な揺れでした

火災時の対応や煙体験、さらに震度7の地震の揺れを再現する機器を用いた体験を行つた。住民の防災意識を高める啓発活動の重要性を改めて認識するとともに、災害時に議員としてどのような行動をとるべきか、参加者間で意見を交わす有意義な機会となつた。



3つのテーマで研修が行われた

- ・議員活動に対する住民の关心と理解をさらに深めるため、読みやすく、わかりやすい広報誌作成のヒントを得るために、研修会に参加した。

ほかの町村議会では議会での一般質問を端的にまとめて興味を持つてもらつたり、議会だよりの内容を簡潔に動画にまとめたりしてあるところもあるようである。広報誌なのでいかに見てもらうか、そして議会に関心を持つてもららうかを考えながら、時代に合わせて取り入れるものはどうぞ取り入れていけたらと感じた。

からりの取り組みに関心 美波町議会が視察に来町



10月8日、徳島県美波町議会の皆さんのが内子町を訪れ、「道の駅 内子フレッシュパークからり」の取り組みについて視察されました。

山田農村支援センター所長、「からり」からは木下総務部長が出席し、設立の経緯や現状の取り組み事例、今後の課題についての説明を受けた後、活発な意見交換が行われました。

参加議員からは、「今回の研修内容を参考に、今後町内にある道の駅運営に活かしたい」等の声が聞かれ、有意義な視察になったと思われます。

VOICE ~みんなのこえ~

内子町議会議員 向井 一富

10月に入り、秋の深まりを迎えようとしているが、暑い日が続いている。山道を車で走行していると、谷合の水田で稻木干しをしているご夫婦を見かけた。車を降りて作業の邪魔にならないように写真を撮らせていただいた。稻木干しの光景もだんだん見かけられなくなってきたので、なんとなく懐かしく感じながらシャッターを押した。

昨年の夏から始まった日本の米価高騰もあり、稻木に掛けられていた稻わらが光輝いているようにも見えた。その後ろ姿も誇らしく感じた。いつまでもお元気で伝統の美味しい米づくりを続けて欲しいなと感じた。ご協力ありがとうございました。



昔ながらの稻木の風景

【議会だより】町民のみなさんより貴重なご意見が届いています。

次年度、41名の新入生が見込めないと内子高校がなくなるという窮地に立たされていると聞く。学校存続に、なんとしても手立てを加えてほしいと思う。(50代女性)



内子高校本校魅力化プロジェクトが、今年の6月から始まっています。

令和8年4月からスタートする学習センター（公営塾）の準備と、地域を活かしたカリキュラム改革を行っています。

学校と地域で学習サポートや進路支援を行い、内子高校の魅力を強化しています。

表紙の写真は、とても驚きました。アユをほおばっている子どもたちの笑顔。ほほえましく、郷土の味の伝承にも期待が高まります。体験値を上げていく試みに頭が下がります。(60代女性)



ほんと良い写真ですよね。こういった写真をもっと取り上げたいのですが、深く関わっている人にはかないません。みなさまからの投稿を待ってます。もちろんエピソード込みで。

募集中

「議会」「議会だよりうちこ」にご意見をお寄せください。また、「議会だよりうちこ」に掲載する季節行事や風景などの写真も募集しています。右記アドレスへ送付してください。

ご利用ください!
【QRコード】
内子町ホームページ「議会事務局」へつながります。



議長のスケジュールと
交際費を掲載中!



議会事務局メールアドレス
gikaijimukyoku@town.uchiko.ehime.jp

編集後記

一気に秋らしくなってきました。農作物へのカメムシ被害が今年は少なく、お米も果物も豊作のようです。今年も内子の果物はたいへん美味しく、特産の柿も関東への出荷が最盛期。多くの人に食べてもらい、ふるさと納税に繋がってほしいですね。

「天高く私肥ゆる秋。」ズボンもベルトもきつく、体だけは成長中です。(城戸 司)

【議会広報常任委員会】

委員長／下野 安彦
副委員長／西口 邦彦
委員／向井 一富
委員／城戸 司
委員／松田 修
委員／酒井 勝也

次の定例会は12月2日(火)開会予定です。